

生活支援担い手養成研修

高齢者の日常生活の困りごとを住民互助で解決していくための「たすけあい活動」に必要な心得と技術を、福祉や介護の専門家、先駆的に活動している市民団体から学び、生活支援の担い手を養成する

【担い手は？】

- ・加齢に伴い日常生活が少しずつ不自由になってきた方などを対象に、話し相手、将棋などの趣味の相手、自立を妨げない程度の家事援助などを行い、在宅の暮らしを支援する。
- ・高齢者の日常生活の困りごと（家事・外出支援・電球の交換・庭の草取り・使用していない部屋の掃除など）に対応し、地域で貢献する。

研修プラン例1

講義 15 時間 + 実習 1 日

- ・介護保険制度
- ・自治体の現状(福祉サービス)
- ・高齢者の心とからだ
- ・生活支援の心得
- ・支援技術

※内容は裏面

≫訪問型サービスAへの対応

研修プラン例2

講義 6 時間 + 体験 1 日

- ・自治体の現状(福祉サービス)
- ・高齢者の心とからだ
- ・生活支援の心得

※内容は裏面

≫訪問型サービスBへの対応

研修プラン例3

講義 12 時間 + 体験 1 日

- ・介護保険制度
- ・生活支援の心得
- ・ボランティアコーディネート

※内容は裏面

≫居場所立ち上げ・生きがいづくり

※研修プラン参考例です。希望に合わせてプランニングできます



【申し込み・問い合わせ】

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

担当：五十嵐美代子

〒478-0047 愛知県知多市緑町 12-1 知多市市民活動センター 1 階

TEL 0562-33-1631 / FAX 0562-33-1743

Email spchita@ams.odn.ne.jp URL <http://cfsc.sunnyday.jp/>

研修プラン プログラムの詳細

【研修プログラムの目的】

- 地域の高齢者を取り巻く現状を理解する
- 在宅支援の仕組みを理解する（日常生活支援をグループで行うメリット・デメリットを理解する）
- 在宅支援の担い手の不安を解消する（報告・連絡・相談で情報共有できる安心感）
- できること・得意なことで地域の役割ができる
- 修了後は地域の受け皿であるNPOまたはボランティア団体に所属する

【対象】

- 生活支援・介護予防に感心のある方
- 高齢者の社会参加に興味関心のある方

【具体的な内容】

科目	講師	内容
介護保険制度	自治体職員	・地域包括ケアシステム ・新しい総合事業 ・生活支援体制整備事業 など
自治体の現状 (福祉サービス含む)	自治体職員 地域包括支援センター職員 社会福祉協議会職員 など	・福祉計画 ・地域福祉計画 ・福祉サービスの現状 ・生活困窮者自立支援法 など
高齢者の心とからだ	自治体職員（保健センター） 地域包括支援センター職員 介護支援専門員	・高齢者の捉え方 ・高齢者のからだ ・健康管理・運動
生活支援の心得	福祉NPO職員	・訪問時のマナー ・個人情報保護 ・リスク管理 など
認知症の基礎知識	自治体職員 地域包括支援センター職員 福祉NPO職員	・認知症サポーター養成講座 ・認知症カフェ・認知症ケアパス など
支援技術 (介護の基礎)	福祉NPO職員	・コミュニケーション・傾聴 ・訪問時の観察 ・移乗・移動・外出支援 など
ボランティアコーディネーター	福祉NPO職員	・ボランティア ・コーディネーターの役割 ・グループ運営

※その他ご要望があれば、ご相談ください。